

資料 1 1 (p 4 関連) 民間時間貸駐車場への対応に係る国内事例

民間時間貸駐車場への対応としては、概ね次の3つの方法がみられる。

なお、営業補償の事例は、存在しなかった。

(1) 検討メンバーに参加していただく

- ・ 【青森県八戸市】では、計4回開催したワークショップ形式の話し合いを行い、そのメンバーとして参加をいただいた。
- ・ 【福島県郡山市】では、実行委員会の委員として参加をいただいた。

(2) 説明会および個別説明を実施する

- ・ 【岩手県盛岡市】では、周辺の営業駐車場に対し、大通組合を通じて、実施説明会への参加を呼びかけ、参加をいただいた。
- ・ 【島根県津和野町】では、個別に訪問して説明を行った。
- ・ 【愛媛県松山市】では、実験の申請前から、事業者に対して訪問説明や説明会を実施した。
- ・ 【兵庫県神戸市】では、業務ビルの駐車場に対して、地元から閉鎖を依頼した。
- ・ 【広島県広島市】では、関係者と個別に協議した。

(3) 実験期間中のみ特別な対策を実施する

- ・ 【岐阜県岐阜市】では、営業駐車場について、その一部を借り上げて、荷捌き駐車場として活用した。
- ・ 【東京都目黒区】では、路上荷捌き車対策の実験において、駐車場を借り上げた。
- ・ 【大阪府豊中市】では、通行止めの実験区間を駐車場等の影響の少ない区間に限定した。
- ・ 【大阪府枚方市】では、コインパーキング(1箇所)を、借り上げてイベント用地として活用した。

	自治体	荷捌き車両に関して
1	八戸市	<ul style="list-style-type: none"> 荷捌き乗降場を実験対象区間内に設置し、実験調査 対象区間外にも別途、荷捌き乗降場を設置（利用は少なかったが）
2	盛岡市	実験期間中、なるべく測道に停めてもらうよう協力要請
3	前橋市	許可車両として進入を許可（駐車場所については特に指定なし）
4	目黒区	<p>【簡易共同荷捌きシステムを別途調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 概要 一部の納品業者の協力で民間駐車場に車を誘導し、そこを拠点にして集配作業を行い、作業効率・交通への影響を探る調査を実施 ■ 評価結果 アンケート調査では、7割が路上荷捌き車対策の解決策となると回答し、実態調査でも宅配車両・運送車両の台数が減少しており、効果はあったと評価 ■ システム実現に向けて <ul style="list-style-type: none"> 地域の荷物総量を把握して地域と拠点間の距離を最優先に検討する必要がある 納品業者が作業コスト削減による利益を共同荷捌きシステム運営費に転換できるか検討する必要がある。
5	福井市	午後 8 時～午前 10 時まで進入許可（駐車位置については特に指定なし）
6	浜松市	自動車や歩行者の通行の妨げにならない路上に荷捌きスペースを設置（午前と午後の一部の時間帯に利用を限定し短時間（15 分など）の利用は無料とする）
7	松山市	今後の整備方針として、中期的には荷物集配の時間を限定し、長期的には完全なトランジットモールを目指す中、沿道商店の車両は通行許可車両として通行
8	那覇市	荷捌き車両のドライバー及び店舗におけるアンケート調査で通り内における荷捌き・集配の駐車については「他交通への影響が気になる」が多く、トランジットモール導入に関わらず、路外における荷捌き駐車場等の施設設備が望まれていることが確認され、車両規制のあるトランジットモール導入時には必要であることが確認された